Kouseikai

四季

2014.6.1

vol. 28

Shiki

P2 光生会病院C-UNIT（外来棟）
東・西玄関改修整備完了のご案内
新任医師紹介

P3 【講演】
「介護老人保健施設を知っていますか？」

P4.5 紙上クリニック
CT検査について

P6.7 平成25年度 光生会病院 事業報告

P8 平成25年度 先端画像センター 事業報告

P9 平成25年度 赤岩病院 事業報告

P10 平成25年度 福祉部門 事業報告

P11 赤岩病院TOPICS
地域高齢者体力測定活動

光生会病院C-UNIT（外来棟）東・西玄関の改修整備が完了いたしました。

西玄関側の用地拡張に伴い、歩行来院者及び送迎来院者双方の利便性・安全性を考え東玄関および西玄関の改修整備を行いました。工事期間中は何かとご不便をおかけしたと思いますが、皆様のご協力のおかげでこの度無事に工事を終えることができました。この場をかりて御礼申し上げます。

光生会病院 東・西玄関位置及び周辺図

■ 東玄関

■ 西玄関（送迎車専用）

新任医師紹介

光生会病院　内科
林　智彦

【略歴】
平成22年
　杏林大学医学部 卒業
平成23年
　国立病院機構
　豊橋医療センター
平成26年
　光生会病院

平成26年3月より、医療法人　光生会病院の内科常勤医として着任しました、林　智彦と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

この度、医療法人　光生会病院では内視鏡検査を行いながら、主に総合診療医として、幅広く地域医療に貢献していけたらと考えております。

患者様との関係を大事にお互いのための医療を意識しながら頑張っていきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

赤岩病院　内科 **平原　真知子**

平成26年4月より、赤岩病院に勤務させて頂いています平原真知子です。赤岩病院は、患者様もスタッフもみな笑顔で温かく接してくれます。慣れない環境で戸惑う事もありますが、皆様のお役に立てますよう頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

介護老人保健施設
公開講座

赤岩荘のスタッフ　豊橋創造大学で講演

「介護老人保健施設を知っていますか?」

～ 超高齢社会の中で期待される役割 ～

平成26年1月25日　豊橋創造大学にて、渡邊施設長、支援相談員の近藤、作業療法士の伊藤の3人で、「介護老人保健施設を知っていますか?」と題し、リレー方式で講演を行いました。（講演時間90分・スライド70枚）

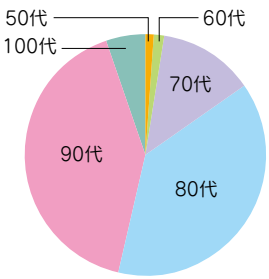
この公開講座は特定研修施設との連携講座の1つです。介護老人保健施設は、時代とともに求められる役割が変化してきているものの、あくまでも家庭復帰を目指すリハビリ施設です。講演では実際の申し込み方法から、入所し退所するまでのリハビリや生活の様子、そして退所してからの施設利用の方法などを各スタッフより説明しました。利用者さんの言動や行動に対する理解を深めるため、赤岩荘では、その方の人格や価値観を知り、理解するよう心掛けています。

また、人間関係のある施設生活（社会生活）を送ることで、脳の活性化に繋がり、寝て過ごさない生活は心肺機能低下の予防にもなります。介護老人保健施設は、リハビリテーション専門職（理学療法士/PT・作業療法士/OT・言語聴覚士/ST）の配置が義務付けられています。そして赤岩荘では、身体に対するリハビリだけでなく、認知症に対するリハビリも積極的に行っています。深刻化する少子高齢社会を乗り越えていくため、これからの介護老人保健施設は、『地域包括ケアの拠点』となることが期待されています。地域に無くてはならない存在として、みなさまから、より一層必要とされる赤岩荘を目指し、努力していきたいと思います。

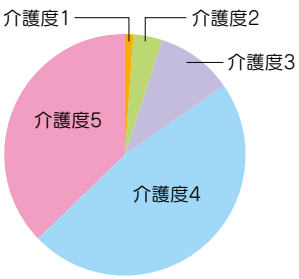
講座に出席して下さった一般の方々、民生委員や利用者さんのご家族の方々から「介護老人保健施設のことが改めてよく理解できました」「介護老人保健施設のリハビリのことがよくわかった」など、多くの感想が届きました。

【参考資料】

〈赤岩荘入所年齢別〉

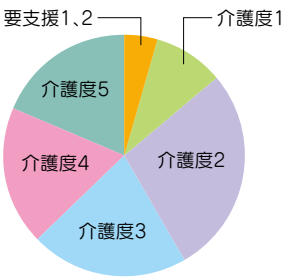


〈赤岩荘入所介護度別〉



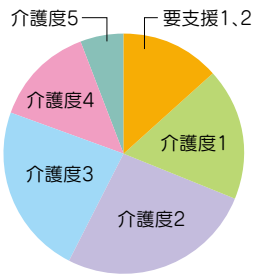
平均介護度 4.2

〈赤岩荘ショート介護度別〉



平均介護度 3.1

〈赤岩荘通所リハ介護度別〉



平均介護度 2.6

平成25年11月実績

CT検査について

放射線科部長
橋本　毅

【資格・所属学会等】
日本医学放射線科学会
　放射線診断専門医・研修指導者
日本IVR学会　専門医・代議員
日本医学放射線科学会　中部地方会　会員
日本IVR学会　中部地方会　世話人
欧州IVR学会(CIRSE)　会員
日本救急医学会　会員
日本門脈圧亢進症学会　会員
オートプシーイメージング学会　会員
他

光生会病院では本年2月に米国GE Healthcare社製の最新型CTスキャナー“Discovery CT750HD”を導入しました。これに併せて、今回はCTについてお話ししたいと思います。

1 CTとは

コンピューター断層撮影法(Computed Tomography)の略です。人体にX線を照射しながら機械を回転させると、身体の組織や臓器はエックス線の透過性が異なるため、検出器に届くX線量に差がでます。これをコンピューターで画像化したものがCTで、身体を輪切りにした写真が得られます。近年、CTは急速な発展を遂げており、1回の撮影で広範囲を細かく撮影することが可能で、撮影時の息止めや検査時間も大幅に短縮されています。当院の装置では最速で胸部のCTは約2秒、腹部のCTは約4秒(これらは体格や検査目的により異なる事があります)で、0.625mm厚の画像が得られます。

2 造影剤とは

CTでは通常、ヨード造影剤を使用します。小さな病変や正常部位と透過性がほとんど変わらない病変は、造影剤を用いない検査(単純CT)では診断が困難なことがあります。このため病変部と正常組織の濃度差(コントラスト)をつけ病変をわかりやすくする目的で、造影剤を用いた検査(造影CT)をすることがあります。尚、実際の使用の有無については検査担当医が必要に応じて決めさせていただきます。

3 MRIと比べたときのCTの利点、欠点は？

■MRI装置と比較して、CTが優れている主な点としては

①検査時間が非常に短く、一度に広範囲の撮影が可能、②ペースメーカーや体内に磁性体があっても施行可能、③撮影時の音が小さい、④装置が小さく、閉所恐怖症の方でも撮像できる、⑤細かく撮影しているため、撮影後の画像処理で任意の断面で評価できる、などがあります。

■逆にCTの欠点としては

①放射線被ばくがある、②組織のコントラストはMRIには劣る、などがあります。

※CTやMRIには上述の様な利点、欠点があるため、撮影部位や病気の種類、患者様の病状によりCT・MRI検査のいずれか、または両方を施行致します。

4 当院の導入したDiscovery CT750HDの3大特長

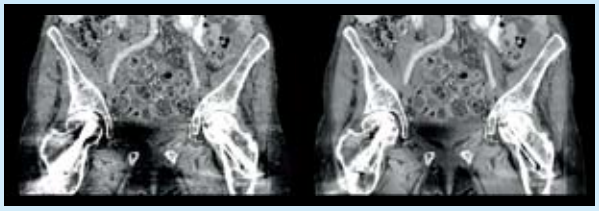
特徴1 高画質

検出器素材として、従来比約100倍の発光スピードを持つガーネットを搭載し、データサンプリング数を従来比約2.5倍に増加させたことにより、画像の鮮明度で大幅な向上を達成したCTです。

心臓の冠動脈内に留置されたstent(2.5mm)内腔の評価が可能

特徴2 デュアルエナジースキャン

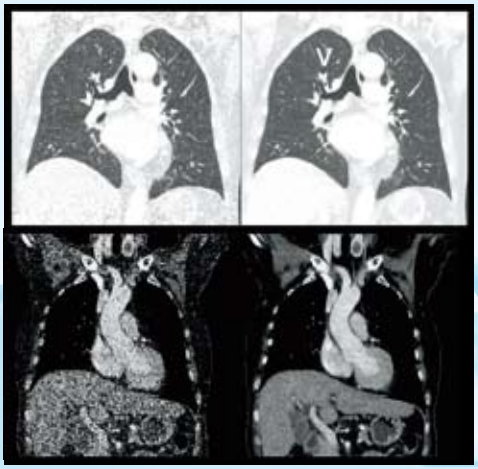
2つの異なるエネルギーのX線で同時に撮影する"デュアルエナジースキャン"が可能です。従来のCTでは金属などが留置されている場合は、そのアーチファクトにより画質が劣化していましたが、デュアルエナジースキャンを行うことで画質の劣化を防ぐことが可能です。



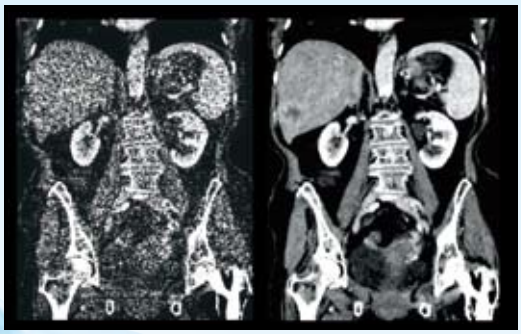
デュアルエナジースキャンでの体内金属のアーチファクトに伴う画質劣化の低減(左;従来のCT画像、右;750HDのCT画像)

特徴3 超低被ばく撮影

前述のとおり、CTでは人体の被ばくが大きな課題となりますが、最新の画像再構成技術(逐次近似法;Veo,ASiR)により、飛躍的な被ばく低減が可能となりました。通常、被ばく線量を減らすと画質も劣化しましたが、新しいCTでは従来の半分以下、特にVeoと言う装置を併用すると、胸部や腹部では単純X線写真と同程度の被ばく線量で、従来と同等の画像を取得することが可能となり、胸部や腹部のCT検診などで有用です。



単純X線写真と同程度の線量で撮影し、Veoで再構成した腹部CT(左;従来のCT画像、右;750HDのCT画像)



単純X線写真と同程度の線量で撮影し、Veoで再構成した胸部CT(左;従来のCT画像、右;750HDのCT画像)

5 CT検査当日の注意点

1 腹部CT検査および造影CT検査では、検査の4時間前から食事制限をしていただいておりますが、水やお茶などの水分は十分におとりください。(但し、同日CT以外に水分制限のある検査を受ける方は、水分も控えて下さい)。

2 検査着に着替えていただく場合があるので、着替えやすい服装でおこしください(金属のついた服や下着、貴金属などははずしていただくことがあります)。

3 検査終了後は特に指示がなければ、普段通りの生活を送ってください。

平成25年度 光生会病院 事業報告

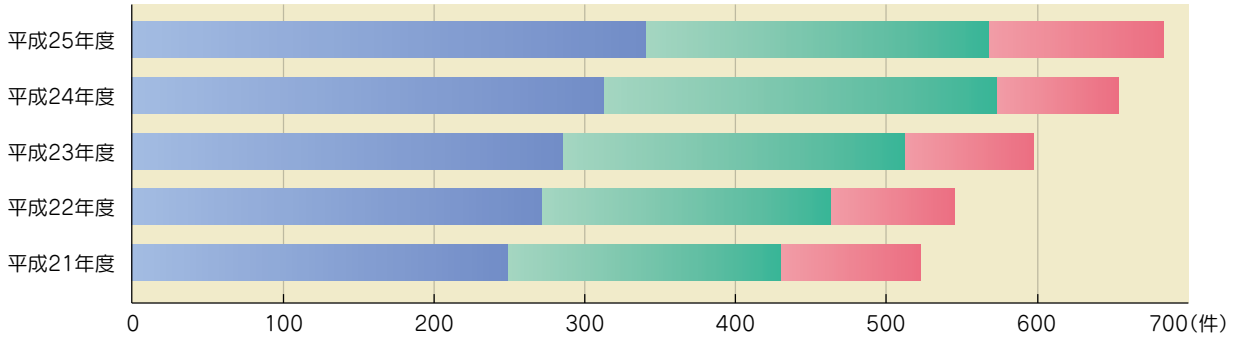
光生会病院では地域の皆様が安心して過ごして頂けるよう経験豊富なスタッフと最新機器をそろえ、多種多様な手術および各種検査を行っております。

平成25年度は医療を安全・確実にご提供するために昨年9月より電子カルテを導入し、本年2月にはさらなる医療の質向上を目指し最新型CTを導入いたしました。そして本年度初めには西側玄関の用地拡大に伴い、来院なさる患者様の利便性と安全性向上のため外来棟東玄関および西玄関の改修整備を行いました。

今後も急性期病院として地域医療に貢献できるよう、現状に満足せず、医療技術・サービス向上に努めていきたいと考えております。

光生会病院 院長
金子 哲也

手術件数



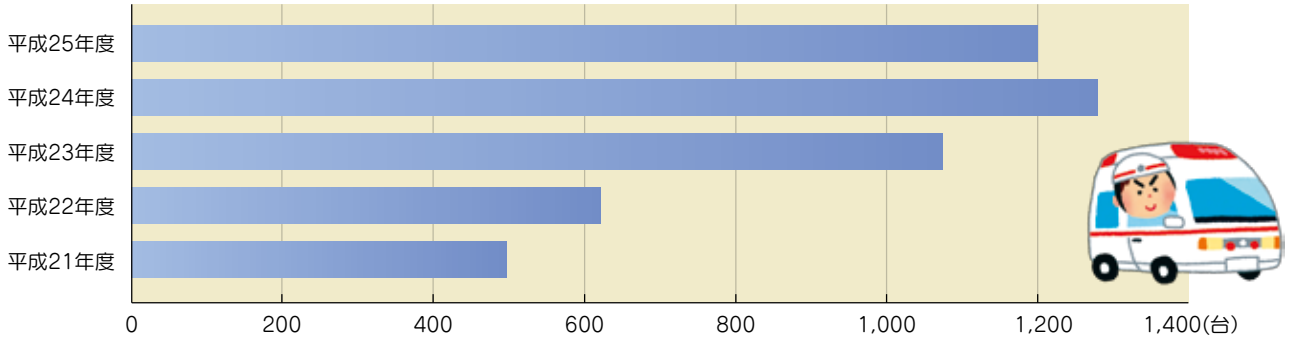
手術内容

【主な手術】

外　科	胃がん、肝がん、大腸がん、食道がん、肺がん、膵がん、乳がん、胆石症、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎 他
整形外科	骨接合術、人工関節置換術、人工骨頭挿入術、骨軟部腫瘍切除術 他
眼　科	白内障、翼状片手術、眼瞼下垂手術、眼窩内腫瘍摘出術、網膜光凝固術 他

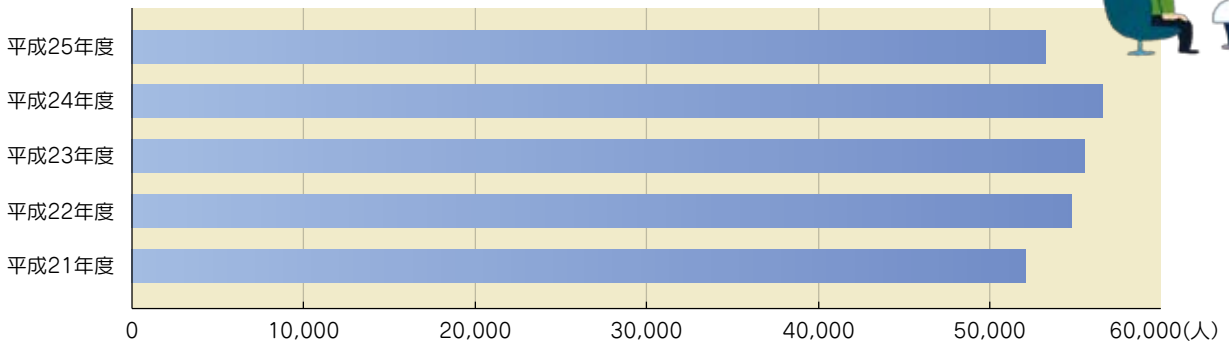
経験豊富なスタッフが最新機器をそろえ、多種多様な手術を実施しております。

救急車受入れ台数



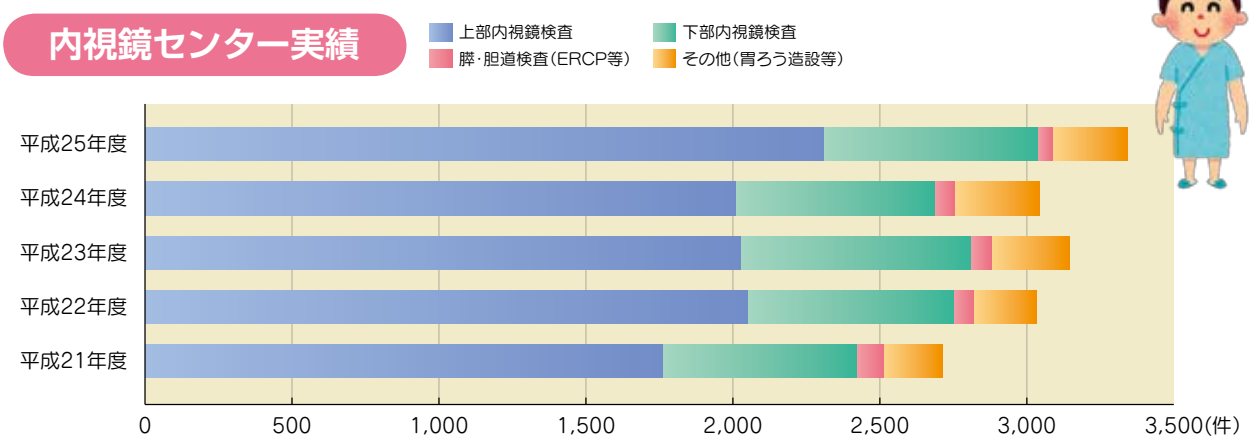
地域の皆様が安心して暮らせるよう、積極的に救急車の受入れをしております。

総合健診センター受診者数推移



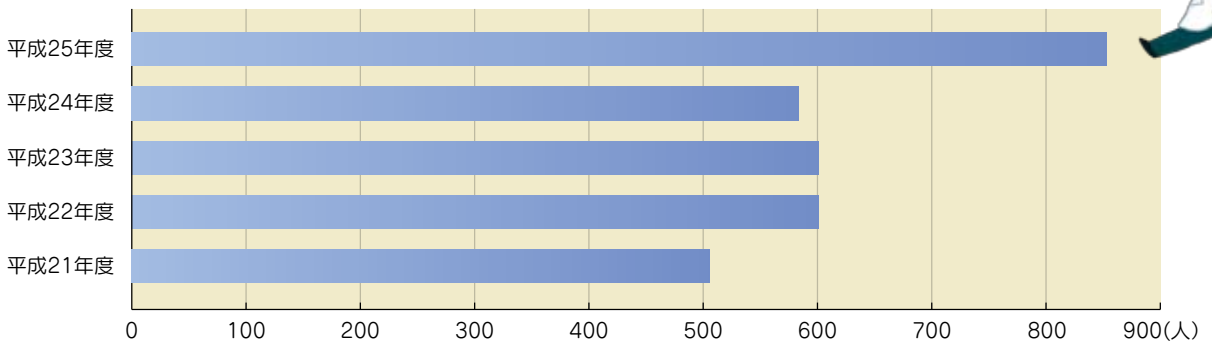
最新の検査機器を導入し、疾病の早期発見に努め生活習慣病の予防を推進しています。

内視鏡センター実績



経験豊富なスタッフが最新機器を使用し、精度の高い検査を実施しております。

光生会病院地域医療連携室（KS-MCR）利用者数



地域の皆様がスムーズに最適な医療を受けられるように地域の医療機関と連携をしております。

● **光生会病院**
〒440-0045 豊橋市吾妻町137　TEL.(0532)61-3166　FAX.(0532)63-5407 **地域医療連携室/**TEL.(0532)61-3213　FAX.(0532)62-6770
● **総合健診センター**　フリーダイヤル 0120-61-3036　TEL.(0532)61-3000　FAX.(0532)61-2962
● **消化器内視鏡センター**　TEL.(0532)61-3166(代表)

平成25年度 先端画像センター 事業報告

先端画像センターでは、平成19年２月に東三河では初めてのPET-CT装置を導入し、診療を開始いたしました。PET検査は主に癌の発見に有効な検査です。その為、近隣の病院からPET検査の依頼が4500件、癌早期発見のためのPET健診が2700件となっております。

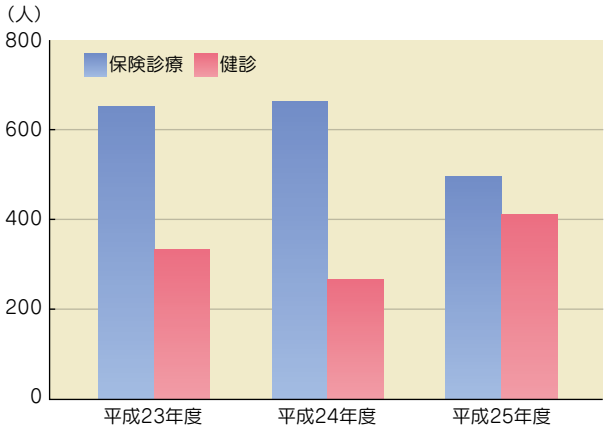
平成24年秋から近隣の病院でもPET検査が開始され、平成25年度の保険診療は減少していますが、PET健診の関心度は高く受診者が増加しております。

PETの保険適応は全悪性腫瘍（早期胃癌は除く）が対象になります。また、保険適応の条件として、既に癌と診断されていて、他の検査（CT・MRIなど）で転移や再発診断できない場合になります。つまり癌の疑いや、癌が心配で検査を受けた場合は保険適応になりません。

そこで当センターでは健診としてPET検査を行っております。ただしPET検査だけで全ての癌を発見することはできないので、CT・MRI・超音波検査などを組み合わせて総合的に診断しております。その結果、多様な癌を発見することが可能となります。

先端画像センター長
仙田 宏平

利用者数（保険診療検査と健康診断の割合）



PET検査の特徴

① 良・悪性腫瘍の鑑別診断
腫瘍が良性と診断できれば、以後の過剰な検査を回避できる。

② 悪性腫瘍の早期診断
分化度が低く、増殖性が高い悪性腫瘍ほど早期診断ができる。

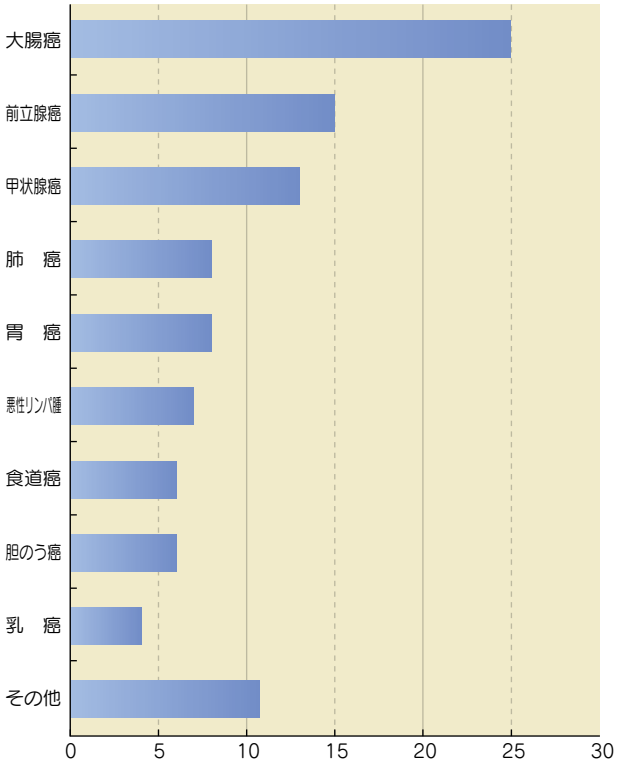
③ 全身の転移巣の検出:病期・進展程度の判定
全身のリンパ節、骨などへの転移が高い検出能で診断できる。

④ 悪性腫瘍の治療効果判定と再発腫瘍の早期発見
腫瘍サイズが縮小する前に、腫瘍の活動性低下を判定できる。
治療後の残存病変に影響されないで、再発腫瘍を検出できる。

⑤ 安全な全身検査
苦痛・侵襲と放射線被ばくが少なく、数時間以内に終了する
全身検査であるため、全身の総合的ながん健診に有用である。

PET健診を受けた事で発見された癌

※一般のがん健診による発見率の約20倍と言われています。



多くの種類の癌が発見されており、今までのがん健診では見つけられなかった癌も多く発見されています。PETによるがん健診は部位、大きさに関わらず癌が存在していることによって発見することができます。

※その他に含まれるPET健診で見つかった癌
（子宮癌・膀胱癌・膵癌・肝癌・肝内胆管癌・腎癌・精嚢癌）

先端画像センター（PETセンター）
〒440-0045 豊橋市吾妻町137　TEL.(0532)62-2262　FAX.(0532)62-2140　メールアドレス pet@koseikai-hp.or.jp

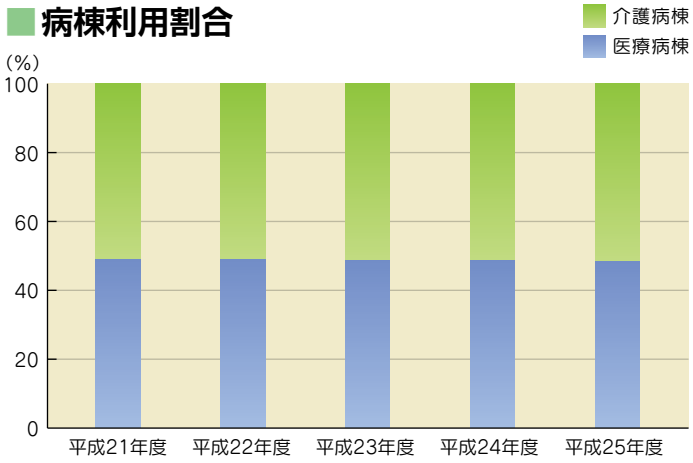
平成25年度 赤岩病院 事業報告

赤岩病院は、現在、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養病棟を有しています。回復期リハビリテーション病棟においては、開棟から3年目を迎えました。地域的にもその役割が周知されてきており、実績も徐々に向上しています。また医療病棟では医療区分の高い重症な患者様を積極的に引き受け、治療、リハビリテーションに力を入れています。介護病棟においても自立した日常生活を営むことができるように、介護・リハビリテーションを受けていただきます。患者様、ご家族様のニーズに出来る限り応えられるよう、努めております。

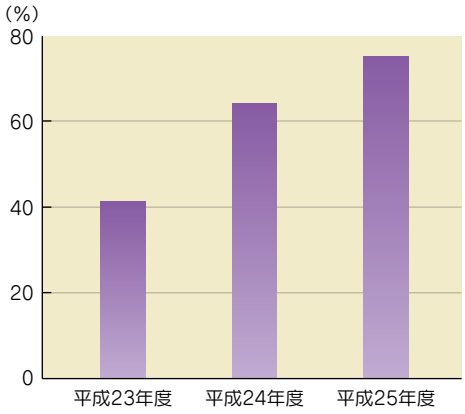
赤岩病院 院長
市川 雅祥

平成25年度 事業報告

病棟利用割合

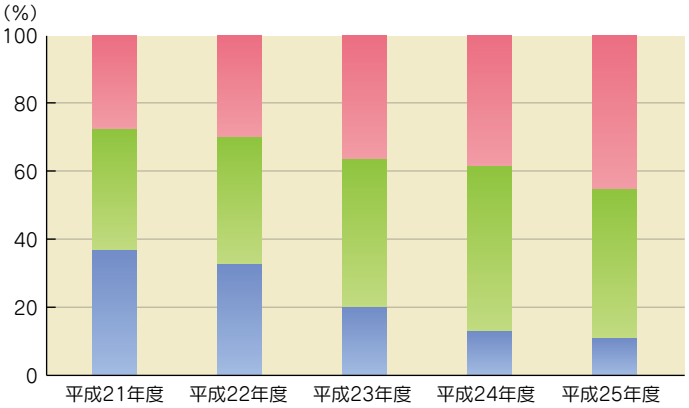


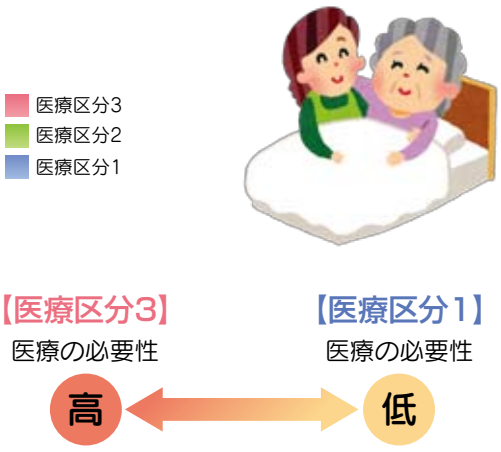
在宅復帰率



例年どおり医療病棟、介護病棟に関しては年間平均で満床に近い状況です。平成23年度9月より新たに回復期病棟を開設しました。回復期病棟は主に在宅復帰を目標としており、入退院の回転率が他病棟と比較して早い病棟です。2年目に在宅復帰率が6カ月平均で60%以上を維持できるようになり、回復期病棟入院料Ⅱを算定できるようになりました。3年目を迎えた今現在も継続して在宅復帰できるよう努めております。

医療区分割合





● 赤岩病院
〒440-0021 豊橋市多米町字蝉川33-70　TEL.(0532)62-2105　FAX.(0532)63-4170　メールアドレス akaiwa@koseikai-hp.or.jp

平成25年度 福祉部門 事業報告

～ 地域包括ケアをめざして ～

赤岩荘 施設長
渡辺 晃祥

老人保健施設赤岩荘入所者平均介護度は4.1で、介護4と5が80％を占めています。在宅支援機能としてのショートステイはその要望に応えて総ベッドの1割を常時利用していただいています。ボランティアや資格習得のための実習生受け入れも積極的にしています。

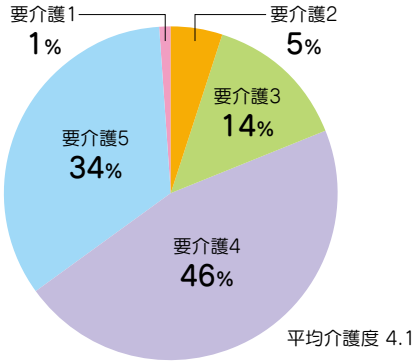
平成25年4月より訪問リハビリテーションを老健赤岩荘で実施するようになりました。1人40分であること、また、自宅へ訪問するため車での移動時間もあり、現在10数名しか対応できませんが、利用希望者が多いため、今年度はスタッフを増員して要望に応えたいと考えています。

通所系の利用者数をみると、老健の通所リハビリテーションは増えていますが、エバグリーンデイサービスは横ばい、若草デイサービスはやや減少しています。

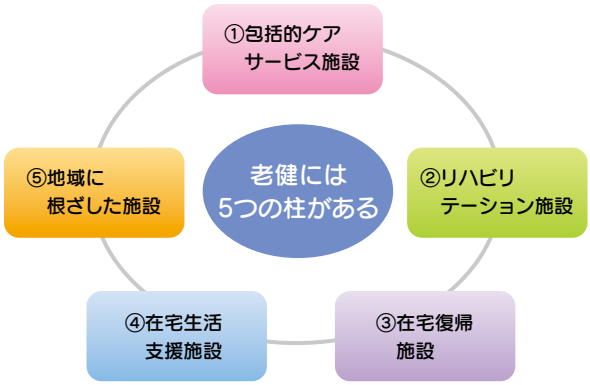
地域包括支援センターの相談件数は年々増え、高齢者総合相談窓口としての役割は一層増しています。また隣地にある地域交流センターでの写経・脳トレ・囲碁将棋クラブも地域住民へのサロン的なものとして大変役立っています。

今年度も福祉部門は、老健の5つの機能を中心に地域一体となったケアを目指して取り組んでまいります。

25年度入所者介護度

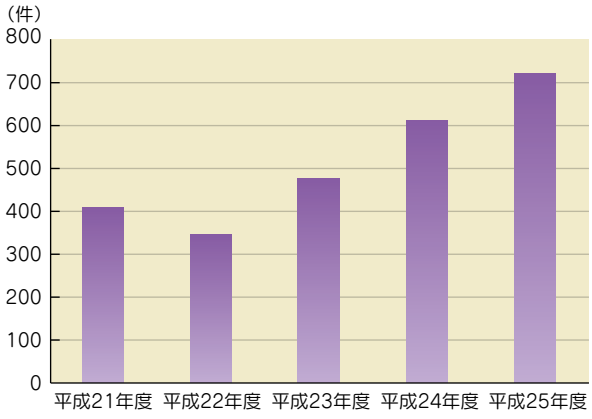


老健の役割



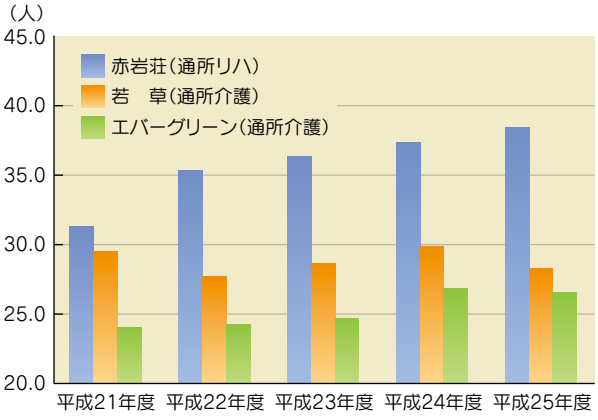
地域包括支援センター 事業実績

■総合相談件数



福祉部門年度別比較（通所）

■1日平均利用者数



● 介護老人保健施設 赤岩荘
TEL.(0532)66-1123

● デイサービス/グループホーム エバグリーン
TEL.(0532)62-4434

● デイサービスセンター若草
TEL.(0532)61-8066

赤岩病院
TOPICS

地域高齢者
体力測定活動

赤岩病院リハビリテーション部の地域活動として3月2日に二川地区市民館で体力測定を行いました。

目　的

65歳以上の1/3の方が年に1回は転倒をしています。また、転倒をした方の60％が骨折をしているといわれ高齢者の寝たきりの原因の第3位になっています。地域在住の高齢者様に自己の体の状態を知っていただき、日々の生活から運動習慣を持っていただくため転倒と関連のあるリハビリ検査の実施、結果に合わせた個別運動プログラムの指導を行い転倒予防に努めていただくことを目標に始めました。

内　容

二川地区在住の高齢者様8名に体力測定をさせていただきました。

①転倒予防と関連のあるリハビリ検査の実施

歩く速さ、柔軟性、筋力、バランス、休まずに歩ける距離、転ばない自信の6項目を測定しました。

②測定結果に対する個別運動プログラム指導

各検査の結果に1点～5点までの点数をつけ合計点によりA～Eの段階を付けました。
各段階により運動プログラムを変え個別に運動指導をさせていただきました。

参加者の声

自分が思っていた以上に力がないことが分かった。今回のような機会があったおかげで、自分の体が知れました。

今後の予定

半年ごとに体力測定を行わせていただく予定です。また、活動地区を増やし地域高齢者様の転倒予防に協力させていただきたいと考えております。

●ご興味のある方はこちらまでお問い合わせ下さい●

TEL.(0532)-62-2105〈赤岩病院リハビリテーション科：伊井　公一〉

四季VOL.28（2014年6月1日）発行／医療法人 光生会 〒440-0045 豊橋市吾妻町137 電話（0532）61-3166

輝くいのち、守ります。
Kouseikai
医療法人 光生会
ホームページアドレス http://www.koseikai-hp.or.jp
メールアドレス(代表)info@koseikai-hp.or.jp
TEL(代表)（0532)61-3166

みなさまの輝くいのち、守ります。

年に1度は健診を

～いつもと変わらない
何気ない日常が1日でも長く続くように。～

健診に関するご質問・お問合せは

総合健診センター
〒440-0045 豊橋市吾妻町137　フリーダイヤル.0120-61-3036
TEL.(0532)61-3000 FAX.(0532)61-2962　メールアドレス kenshin@koseikai-hp.or.jp

PET-CT検査によるがんの早期発見を ～家族のために、自分のために。～

PET-CTに関するご質問・お問合せは

先端画像センター(PETセンター)
〒440-0045 豊橋市吾妻町137
TEL.(0532)62-2262 FAX.(0532)62-2140　メールアドレス pet@koseikai-hp.or.jp

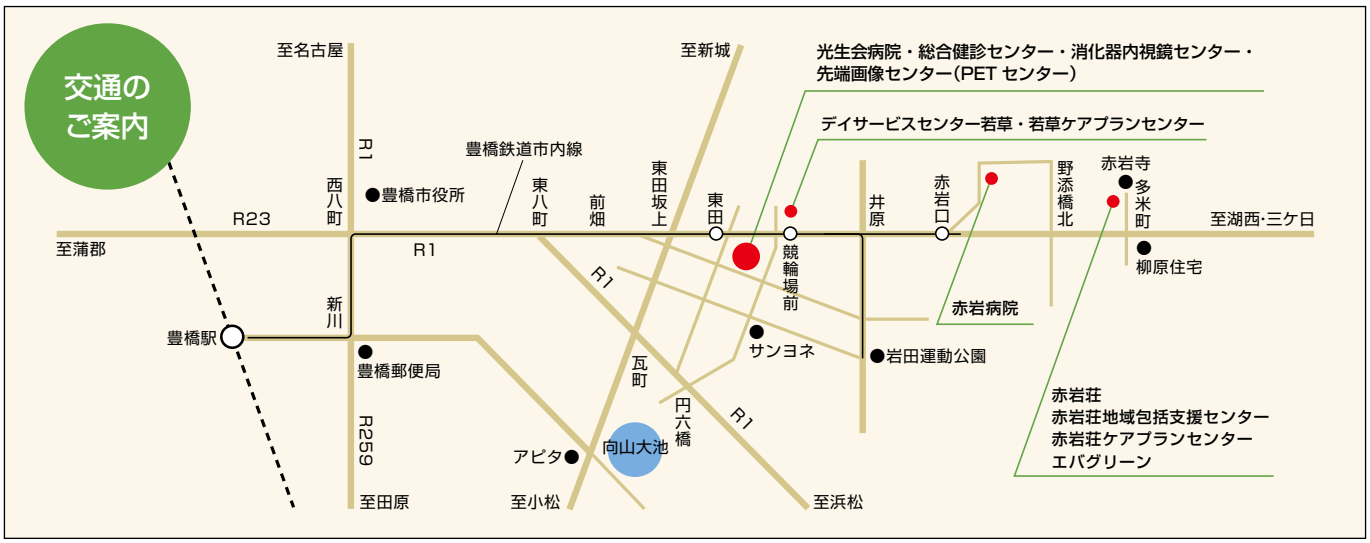
光生会病院 TEL.(0532)61-3166

総合健診センター	TEL.(0120)61-3036
先端画像センター	TEL.(0532)62-2262
消化器内視鏡センター	TEL.(0532)61-3166代表
地域医療連携室	TEL.(0532)61-3213

赤岩病院 TEL.(0532)62-2105

医療病棟　療養病棟
回復期リハビリテーション病棟

介護老人保健施設 赤岩荘
TEL.(0532)66-1123

グループホーム エバグリーン
TEL.(0532)62-4434

デイサービスセンター若草
TEL.(0532)61-8066